



平成16年

消防概況

市消防本部がまとめた平成16年の消防概況によると、前年と比べ火災発生件数は1件、救急出動件数は154件増加しました。皆さんの大切な財産や命までも奪ってしまう火災や事故。普段の生活から、火災や事故などの防止には十分注意しましょう。



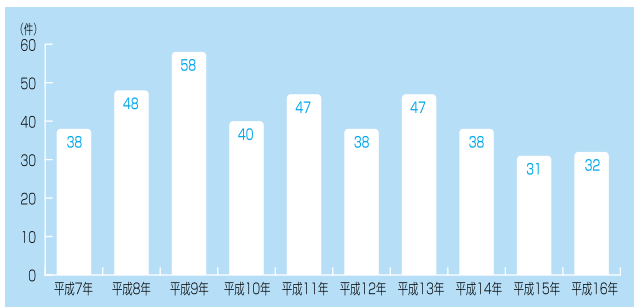
火災概況

●出火件数は1件の増加

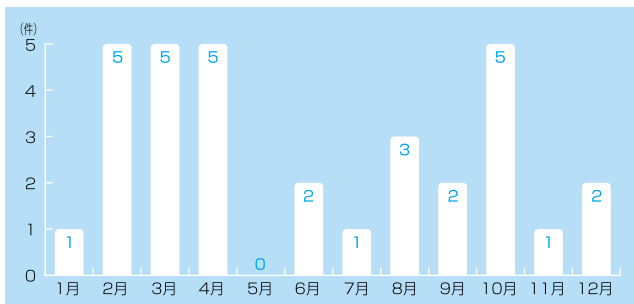
平成16年中の火災件数は32件で、平成15年と比べ1件の増加となりました(グラフ1参照)。

2、3、4、10月には、それぞれ5件の火災が発生しました(グラフ2参照)。

<グラフ1>過去10年間の火災件数



<グラフ2>月別火災件数



●最も多く発生した火災種別は建物火災

火災種別ごとでは、建物火災17件、車両火災4件、林野火災3件、その他が8件でした。

●死傷者…死者1人、負傷者2人

火災による死者は1人、負傷者は2人でした。死者・負傷者は、いずれも建物火災で発生しました。

●出火原因…電気系統の異常が最多

昨年発生した火災32件の出火原因別では、電気系統の異常が7件、放火および放火の疑いが2件、こんろが3件、その他が16件、不明・調査中が4件でした。

また、不注意や人為的なものが原因と思われる火災が、32件中4件ありました。

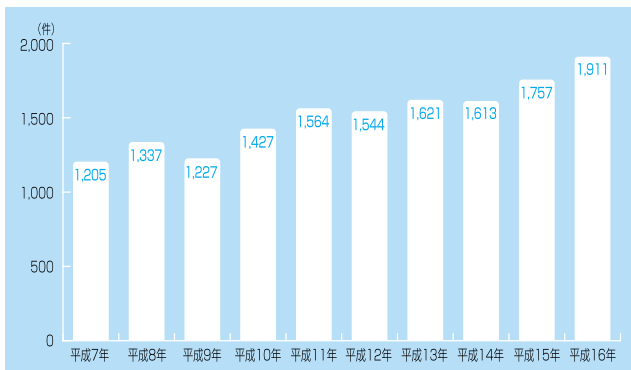
救急概況

●救急件数は154件の増加

平成16年中の救急件数は1,911件でした。これは、1日平均で約5.2件出動したことになります。搬送人員は1,862人で、市民34人に1人の割合で救急搬送されたことになります。なお、平成15年の1,757件と比べ154件の増加でした。

救急件数は年々増加の傾向にあり、10年前と比べ706件の増加となっています(グラフ3参照)。

<グラフ3>過去10年間の救急件数



●最も多く発生した事故種別は急病

救急事故種別の上位は、急病1,153件、交通事故260件、一般負傷222件でした。

春の全国火災予防運動 3月1日~7日

火の用心7つのポイント

- ① 家の周りに燃えやすいものを置かない
- ② 寝たばこや、たばこの投げ捨てはしない
- ③ 揚げ物をするときは、その場を離れない
- ④ 風の強いときは、たき火をしない
- ⑤ 子どもには、マッチやライターで遊ばせない
- ⑥ 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない
- ⑦ ストープには、燃えやすいものを近づけない

